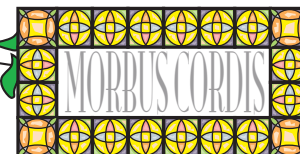




第54回滋賀県立成人病センター研究所セミナー



# 小型魚類を用いた 遺伝・環境要因の生体機能に対する評価

杏林大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 教授  
谷口 善仁 先生

5月2日（火） 午後5時30分～6時30分  
場所：研究所会議室（1F）

近年、ディープシーケンス法などにより、ヒトの遺伝性疾患に関連する変異やレアバリエーションが次々に明らかになっているが、それらが生体に与える影響の評価は一部にとどまっている。ゼブラフィッシュやメダカは、これら数多くの変異の機能解析の手段の一つとして、近年脚光を浴びている。本セミナーでは、小型魚類研究の最新の動向とともに、筋疾患を引き起こすミオスタチン変異体と、糖尿病を引き起こすレプチン受容体変異体について紹介する。

主催：滋賀県立成人病センター研究所

問い合わせ先：研究所事務室（077-582-6034, 内線 8101）

世話人：谷垣 健二（専門研究員） tanigaki@res.med.shiga-pref.jp

来聴歓迎

